

NEW

OTA IOL Intrascleral Fixation Technique

太田氏IOL強膜内固定術用器具セット



9-846 太田氏IOL強膜内固定用3面マーカ― センターピン付

角膜中心より180° 対称となる2時、8時の部位にマーキングを行います。

■ 内径：8.00mm/外径：15.00mm



9-845 太田氏IOL強膜内固定用Yマーカ―

2時、8時の部位の結膜切開を行った後にY字切開のためのマーキングを行います。輪部より2mm離れた位置にマーキングされます。



6-464 太田氏IOL強膜内固定用Uフック

虹彩面上にあるIOL支持部を引っ掛け瞳孔領に移動させ、25G鉗子がIOL支持部先端を把持しやすい位置まで引き寄せます。



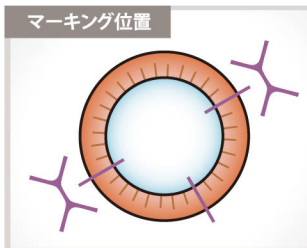
FR-2273 太田氏IOL強膜内固定用鉗子 25G

強膜創より挿入してIOL支持部先端を把持し眼外へ引き出します。チップ内側はIOL支持部を変形させることがないようにフラットに仕上げられています。

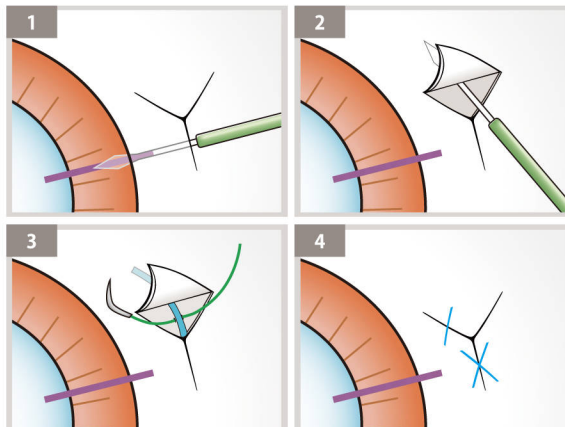
専用滅菌トレー M-2603A

✓ 太田氏IOL強膜内固定術とは…

新世代のIOL二次挿入術であり、解剖学的・光学的安定性に優れ、小切開にて手術可能、IOL脱臼例にも応用可能などの利点があります。眼外へ引き出したIOL支持部先端を強膜トンネル内に挿入し、IOL支持部を強膜床に1針縫着して固定するため、煩雑なIOL支持部への縫合操作や縫着用IOLは不要です。



2時、8時の部位にYマーカ―を用いてY字切開のためのマーキングを行います。輪部より2mm離れた位置にマーキングされます。



- 1 Y字状の強膜半層切開を行った後、IOL支持部を眼外へ引き出すための強膜穿孔創を作成します。23GMVRナイフを虹彩に水平に刺入して毛様溝へ至るようにします。
- 2 23GMVRナイフを輪部に平行に刺入し、IOL支持部先端を強膜内に埋め込むための強膜トンネルを作成します。
- 3 虹彩面上にあるIOL支持部をUフックを用いて瞳孔領まで移動します。強膜創より25G鉗子を挿入し、IOL支持部先端を把持し眼外へ引き出します。引き出したIOL支持部先端を強膜トンネル内に挿入し固定します。IOLの中心固定を行い、IOL支持部を8-0ナイロン糸で三角形の半層弁下の強膜床に縫着します。
- 4 強膜創と結膜の縫合には8-0バイクルル糸を用います。強膜創2箇所を縫合した後、結膜縫合を行います。